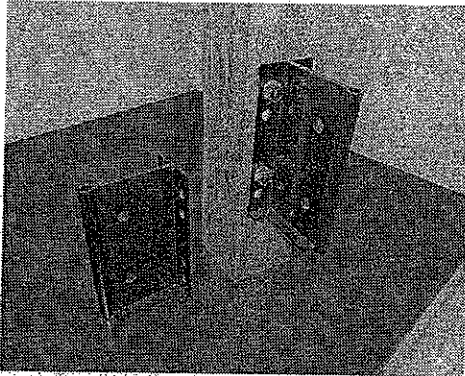


2014.2.25(火)日刊木材新聞6面に弊社の記事が掲載されました。

## ハイブリッド工法増で対応力強化 オリジナル梁受金物を展開

### スカイ

東海地区の大手プレして、オリジナル梁受金物「スカイ」を展開している。高橋幸嗣社長は、梁採用物件は2013年「座」が受けることで受け部などの仕口欠損、実績が月間92棟で、特ボルト緊結等を施工し問題に対応する金物とに非住宅物件は年間実



同社オリジナル金物のスカイジョイント

績370棟。在来工法における仕口補完・補強に特化した製品であり、同社採用率が伸びてい通し柱の梁に対するホスカイソ差し部分やベランダヨイントは施工部分などへの導入を勧めている。対応寸開発した工法は210×450字型の梁受金物。丸く日本住宅・木材技術セなっている。NTAによる性能認定羽根先端部(Sマーク)を取得し分がパイロている。

金物工法について(実績)だが、フル金物(同社)と話す。は、同社では豊岡拠点と金物併用によるハイ(同社)と話す。を中心に加工体制を敷ブリッド工法の物件は、同社では今後、非住き、各メーカー主要1180%以上に達してお宅の大型木造建築物の種の金物に対応するなり、特にハイブリッド増加とともに金物工法ど広範囲の加工要請に工法に関しては「構造の普及がさらに進むと応えている。同社のプレ体の強度確保と施工の見ており、引き続き対レカット加工量は月間しやすさ、そして施工応力を高めていく方針1万2000坪(13年)への提案力向上が評価だ。